

師弟同行

平成26年12月1日(月)

第8号

発行者 相馬 郁夫

教育目標(目指す生徒像)～ 学びとる力 思いやる心 たくましい体 ～

□1年6組・2年1組・3年3組が金賞! /合唱コンクール

11月5日(水)市民会館において、恒例の合唱コンクールが行われました。1年生は「響け歌声 示せ団結力」、2年生は「響けハーモニー 学級の輪」、3年生は「響け心に 生み出せ表現力」をスローガンに、文化祭が終わってから本格的に練習に入り、約一ヶ月で仕上げ本番を迎えました。この一ヶ月間に各学級で色々な物語があったことは言うまでもありません、練習が上手いかず喧嘩になったこともあるでしょう。それを乗り越えて心が一つになった感動を味わったクラスもあるでしょう。それらのこと全てが生徒たちの心の成長に繋がっていると思います。本番では、全クラス緊張の中立派な発表ができました。また、聞く態度も素晴らしく生徒達の意気込みが伝わってきました。さらにスローガンどおり学年が上がるに従って難しい曲に挑み素晴らしい歌声を披露してくれました。その結果、1年生では、6組が金賞、1組が銀賞、5組が銅賞を、2年生では、1組が金賞、5組が銀賞を、3年生では、3組が金賞、4組が銀賞、1組が銅賞をそれぞれ受賞しました。



また、保護者やご家族の方もたくさん会場に来てくださいました。1年生が104名、2年生が137名、3年生が148名、合計389名、生徒数の73%もの方々が来てくださったことになりました。文化祭同様、たくさんの保護者やご家族の方に来ていただき有り難うございました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

□八木節部、吹奏楽部が地域文化祭に参加



11月1日(土)に筑波地区文化祭が行われ、本校の八木節部が出演しました。また翌日の11月2日(日)には、梁田地区文化祭が行われ、本校の吹奏楽部が出演しました。八木節は小学校で盛んに行われ、地域でもその継承者を育てるために力を入れています。しかし、中学校に入って八木節を続ける生徒が少なく、八木節部の中には中学校から習い始めた生徒達もいます。

学区内に八木節発祥の地八木宿のある協和中の八木節部は、その意味で地域にとって大変貴重な存在といえます。

一方、吹奏楽部の梁田地区文化祭での発表は、学校音楽祭中央祭での発表が一段落し、3年生が引退したあとの新チームでの最初の演奏の場となっています。このように生徒達の発表の場を地域から与えてもらうことは大変有り難いことです。



□受賞者34名を代表して立派な挨拶 / 優良青少年表彰



11月3日(月)市民会館別館ホールにおいて、第74回足利市優良青少年表彰式が行われました。小学生22名、中学生12名が表彰され、本校からは、生徒会長として「あいさつ運動」や「いじめ撲滅宣言」に力を注いできた3年生のA.Eさんが受賞されました。また、Aさんは、受賞者34名を代表して立派に挨拶の言葉を述べました。

□ご協力有り難うございました / 赤い羽根募金

福祉委員会を中心となって恒例の赤い羽根募金を行いましたところ、23,269円の募金が集まりました。ご協力有り難うございました。写真は、11月20日(木)に市の福祉協議会の方に来ていただいて、集まった募金をお渡ししているところです。



□協和中生は元気な挨拶ができ気持ちがいい／クリーン活動

11月7日(金)八木、栄、天王、和泉、神文、阿厨八、伊勢宮、本町、住宅、島田、南猿田、県の12の老人会と合同で全校生徒によるクリーン活動が行われました。当日は授業を午前中で切り上げ、給食を食べ清掃をしてから一度帰宅し、3時に集合場所に各自で集まりました。そこで各老人会の方々とは合流したのですが、その際、御厨公民館に集まった老人会の方々から、「地域での協和中生は元気な挨拶ができ気持ちがいいです。」とお褒めの言葉を頂きました。大変うれしく思いました。



生徒達はお年寄りに合わせてゆっくり歩いたり、お年寄りと交流を深めながらたくさんのゴミを拾っていましたが、引率した先生の反省の中に、「やらされている感が強い」「積極性が感じられない」「態度が悪い」などがあり、ボランティアの本質に迫る今後の取り組みの必要性を感じました。

□こんなに乗りのいい生徒達は初めてです／市長塾



11月19日(水)本校体育館において全校生を対象に市長塾が行われました。市長塾は、足高、坂西中、愛宕台中ですで行われ、本校で4校目になります。内容は、「憧れる力、感動する力、強く思う力」ー未来の足利を担う君たちへーと題して、40分程度の和泉市長さんの講話と10分程度の質疑応答でしたが、生徒達は真剣に聞き入り市長さんの質問に活発に手を挙げ答えしていました。また、質疑応答でもたくさんの生徒が手を挙げ次から次へと市長さんに質問をしていました。講演後市

長さんから「こんなに乗りのいい生徒達は初めてです。」との感想を頂きました。講演の内容は紙面の都合で省略しますが、生徒達は市長さんに親近感を覚え、強く思うことで自分の夢を実現し、社会のために行動できる生き方をしたい等の感想を書いていました。

□臨機応変な判断で自分の命は自分で守る／避難訓練

11月17日(月)の6校時目を利用して後期避難訓練が行われました。大きな地震後、相談室から火災が発生したという想定での訓練です。当日は、河南消防署の署員の方に訓練の一部始終を見てもらいました。避難するように放送が入ってから、校庭への避難が完了するまでに掛かった時間は約5分、これだけの規模の学校としては比較的迅速に避難ができたと思います。



避難終了後、消防車による放水訓練を見学し、その後全体会が行われました。最初に安全委員長さんからの話があり、「避難途中でしゃべり声が聞こえたのもっと真剣に取り組んでください」と厳しい指摘がありました。その後、私からは、「臨機応変な判断で自分の命は自分で守る」という内容の話をしました。最後に消防署員の方から安全委員長さんの話と私の話を総括した内容の講評をいただきました。

「おさない」「かけない」「しゃべらない」「もどらない」の頭文字を並べて「おかしも」を合い言葉に事前事後の指導がなされました。

□7月～11月の朝会で生徒諸君に伝えたこと

6月以降、朝会で生徒達の大会や行事での活動の様子をビデオに収め、全校生徒に紹介してきました。また、ビデオの最後の部分に短いメッセージを入れて生徒たちに私が大切にしていることを伝えてきました。7月には、1年生の東京研修、2年生のマイ・チャレンジ、3年生の修学旅行の様子を、9月には、夏休み中に行われた地区総体の様子を、10月には、県総体、関東大会、全国大会、地区新人大会の様子を、11月には、県新人大会、文化祭、学校音楽祭中央祭、駅伝、英語スピーチコンテスト、優良青少年表彰の様子をそれぞれ紹介しました。

しかし、朝会の時間には限りがあります。そのため7月と9月にはメッセージが入れられませんでした。ここでは、10月と11月に生徒諸君に送ったメッセージを紹介します。

【10月のメッセージ】「部活動は勝つことが目的ではありません、勝つことを目指して頑張る中で得られる心の成長が目的です。心の成長がない勝利より、心の成長のある敗北の方がはるかに価値があります。結果に関係なく一人ひとりの心の成長があれば、それでよいのです。練習の過程や結果から何を学んだかが大切です。」

【11月のメッセージ】「紹介した全ての行事で皆さんは主役でした。みなさんを華やかに演出してくれた縁の下の力持ちの存在を忘れてはなりません。縁の下の力持ちに、感謝！」

